

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 松尾電機株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6969 URL <http://www.ncc-matsuo.co.jp/>
 代表者(役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)清水 巧
 問合せ先責任者(役職名)執行役員総務部門長兼経理部門長 (氏名)竹野井 薫 (TEL) (06) 6332-0871
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,148	△13.9	△129	—	△121	—	△181	—
23年3月期第2四半期	3,656	7.2	159	—	164	—	100	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △282百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △21百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△7.05	—
23年3月期第2四半期	3.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,707	7,252	74.7
23年3月期	10,275	7,586	73.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,252百万円 23年3月期 7,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	△3.9	50	△82.6	50	△81.4	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ____社(社名)、除外 ____社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	26,220,000株	23年3月期	26,220,000株
24年3月期2Q	479,938株	23年3月期	476,619株
24年3月期2Q	25,741,312株	23年3月期2Q	25,773,625株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のエレクトロニクス業界の状況は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響に伴う生産活動の低下、電力不足の問題及び円高の急速な進行により、前年同期に比べて需要が大幅に減少し深刻な状況となりました。特に、当社グループが関連する市場では、カーエレクトロニクス分野向けの需要が大きく落ち込みました。

このような環境のもと、当社グループは、『革新への限りなきチャレンジ』をスローガンとして策定した3カ年の中期経営計画の初年度として、常に革新を志向し「考動」することにより、持続的な事業成長を目指して取り組んでまいりました。具体的には、震災後のお客様への製品の安定供給に努め、また、収率改善等のコストダウンを始めとする売上高に対応したコスト体系の維持を推進すること等により、中期経営計画の基本方針の一つである、市場に受入れられる「品質・性能・価格・納期」の実現に一層努力しました。

しかしながら、震災の影響によるカーエレクトロニクス分野全般の需要の低迷及び円高の急速な進行による海外向け売上の大幅な落ち込みを補うことが困難となり、当社グループの売上高は、31億4千8百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。当社グループの損益につきましては、売上高の減少、対米ドル為替レートの急速な円高の進行及びタンタル材料の一層の高騰により、営業損失1億2千9百万円（前年同四半期比2億8千9百万円悪化）、経常損失1億2千1百万円（前年同四半期比2億8千6百万円悪化）となりました。また、株価の下落に伴う投資有価証券評価損の発生により、四半期純損失は1億8千1百万円（前年同四半期比2億8千1百万円悪化）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① タンタルコンデンサ事業

売上高は、カーエレクトロニクス分野や情報通信インフラ分野、海外向携帯電話の販売が減少した結果、24億9千3百万円（前年同四半期比13.7%減）となり、セグメント利益は4千9百万円（前年同四半期比79.0%減）となりました。

② 回路保護素子事業

売上高は、主にホームエレクトロニクス分野向けの販売が減少した結果、4億8千2百万円（前年同四半期比15.3%減）となり、セグメント利益は7千4百万円（前年同四半期比51.2%減）となりました。

③ その他

主として、フィルムコンデンサの売上高が、主にアミューズメント分野向けの販売が減少した結果、1億7千3百万円（前年同四半期比12.2%減）となり、セグメント損失は5百万円（前年同四半期比2千5百万円悪化）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億6千7百万円（△5.5%）減少し、97億7百万円となりました。流動資産は、同4億2千3百万円（△6.7%）減少し、59億2千9百万円となりました。これは主として現金及び預金が3億9千2百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、同1億4千4百万円（△3.7%）減少し、37億7千8百万円となりました。これは主として、投資有価証券の時価の下落により投資その他の資産が1億3千7百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億3千3百万円（△8.7%）減少し、24億5千5百万円となりました。流動負債は、同2億9千3百万円（△14.7%）減少し、17億6百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が1億4千5百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、同6千万円（8.8%）増加し7億4千8百万円となりました。これは主としてその他の固定負債が3千9百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億3千4百万円（△4.4%）減少し、72億5千2百万円となりました。これは主として、四半期純損失の計上等により利益剰余金が2億3千2百万円減少したこと等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億7千2百万円減少し、7億4千8百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失を計上したこと、仕入債務が減少に転じたこと等によりマイナス1億4千2百万円(前年同四半期比3億6千8百万円減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によりマイナス1億2千2百万円(前年同四半期比9千1百万円減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金が増加したこと等によりマイナス1億3百万円(前年同四半期比6千4百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年8月11日に公表しました数値を修正しています。内容につきましては、本日(平成23年11月11日)公表しました「業績予想数値と実績値の差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,218,044	1,825,685
受取手形及び売掛金	2,316,041	2,286,592
有価証券	93,164	87,760
製品	794,485	783,257
仕掛品	484,809	488,665
原材料及び貯蔵品	431,678	430,814
その他	18,980	28,772
貸倒引当金	△4,577	△2,288
流動資産合計	6,352,626	5,929,261
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	15,561,580	15,609,659
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,175,129	△14,252,968
機械装置及び運搬具（純額）	1,386,450	1,356,691
その他	6,710,350	6,739,631
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,199,350	△5,206,274
その他（純額）	1,511,000	1,533,357
有形固定資産合計	2,897,451	2,890,048
無形固定資産	29,593	29,523
投資その他の資産		
投資有価証券	976,932	838,994
その他	19,158	22,240
貸倒引当金	△0	△2,264
投資その他の資産合計	996,091	858,970
固定資産合計	3,923,136	3,778,542
資産合計	10,275,762	9,707,803

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	963,096	817,822
短期借入金	550,000	500,000
未払法人税等	29,977	23,613
設備関係支払手形	99,964	26,627
その他	357,137	338,138
流動負債合計	2,000,175	1,706,202
固定負債		
繰延税金負債	132,779	132,779
退職給付引当金	492,229	513,252
環境対策引当金	9,322	9,322
資産除去債務	6,696	6,758
その他	47,577	86,842
固定負債合計	688,604	748,953
負債合計	2,688,780	2,455,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,219,588	2,219,588
資本剰余金	3,341,270	3,341,270
利益剰余金	2,201,799	1,968,912
自己株式	△83,531	△83,879
株主資本合計	7,679,127	7,445,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△91,981	△193,104
繰延ヘッジ損益	△163	△140
その他の包括利益累計額合計	△92,145	△193,244
純資産合計	7,586,982	7,252,647
負債純資産合計	10,275,762	9,707,803

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	3,656,727	3,148,853
売上原価	2,796,531	2,571,156
売上総利益	860,196	577,696
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	271,125	264,609
退職給付費用	22,203	20,732
貸倒引当金繰入額	64	—
その他	406,911	422,319
販売費及び一般管理費合計	700,305	707,660
営業利益又は営業損失 (△)	159,890	△129,963
営業外収益		
受取利息	948	455
受取配当金	11,672	12,638
株式割当益	12,740	—
その他	2,504	5,312
営業外収益合計	27,865	18,405
営業外費用		
支払利息	4,399	3,801
たな卸資産廃棄損	5,152	—
為替差損	11,135	6,021
その他	2,206	410
営業外費用合計	22,894	10,233
経常利益又は経常損失 (△)	164,862	△121,791
特別利益		
投資有価証券売却益	1,724	—
特別利益合計	1,724	—
特別損失		
固定資産除却損	2,248	1,832
投資有価証券評価損	54,403	42,312
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,350	—
特別損失合計	61,001	44,144
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	105,584	△165,935
法人税、住民税及び事業税	5,492	15,465
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	5,492	15,465
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	100,091	△181,401
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	100,091	△181,401

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	100, 091	△181, 401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121, 359	△101, 123
繰延ヘッジ損益	32	23
その他の包括利益合計	△121, 327	△101, 099
四半期包括利益	△21, 235	△282, 500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21, 235	△282, 500
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	105,584	△165,935
減価償却費	114,793	109,192
有形固定資産除却損	2,248	1,832
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,350	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,537	21,022
未払賞与の増減額 (△は減少)	2,758	△4,402
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	64	△25
受取利息及び受取配当金	△12,620	△13,093
株式割当益	△12,740	—
支払利息	4,399	3,801
為替差損益 (△は益)	474	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,724	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	54,403	42,312
売上債権の増減額 (△は増加)	△67,160	29,449
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,948	8,234
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,748	△145,273
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,984	△644
長期未払金の増減額 (△は減少)	△8,476	△8,336
その他	12,755	△9,550
小計	227,464	△131,417
利息及び配当金の受取額	12,774	13,229
利息の支払額	△4,390	△3,722
法人税等の支払額	△9,900	△20,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	225,947	△142,118
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	△505,000
定期預金の払戻による収入	400,000	505,000
有価証券の償還による収入	—	25,000
有形固定資産の取得による支出	△45,556	△145,983
長期預金の払戻による収入	100,000	—
投資有価証券の取得による支出	△85	△144
投資有価証券の売却による収入	14,464	—
従業員に対する長期貸付けによる支出	—	△1,000
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	370	121
その他	△42	△118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,850	△122,125

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△50,000
リース債務の返済による支出	△267	△1,690
自己株式の取得による支出	△196	△347
自己株式の処分による収入	23	—
配当金の支払額	△38,562	△51,072
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,003	△103,110
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,003	△5,307
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	148,090	△372,662
現金及び現金同等物の期首残高	780,127	1,121,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	928,217	748,445

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注) 4
	タンタル コンデンサ事業	回路保護素子 事業(注) 1	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2, 889, 570	569, 875	3, 459, 445	197, 281	3, 656, 727	—	3, 656, 727
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2, 889, 570	569, 875	3, 459, 445	197, 281	3, 656, 727	—	3, 656, 727
セグメント利益	237, 970	152, 296	390, 267	19, 996	410, 263	△250, 372	159, 890

- (注) 1. 当社グループが従来「回路保護部品」と称していた製品群は、電子部品の中の機能的な位置づけを考慮して平成23年 4 月 1 日より「回路保護素子」と改称したことに伴い、平成23年 4 月 1 日より「回路保護部品事業」は「回路保護素子事業」と改称しています。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルムコンデンサ事業及びアルミコンデンサ事業等を含んでいます。
3. セグメント利益の調整額△250, 372千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理、管理部門等の一般管理部門に係る費用です。
4. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第 2 四半期連結累計期間(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注) 4
	タンタル コンデンサ事業	回路保護素子 事業(注) 1	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2, 493, 096	482, 639	2, 975, 735	173, 117	3, 148, 853	—	3, 148, 853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2, 493, 096	482, 639	2, 975, 735	173, 117	3, 148, 853	—	3, 148, 853
セグメント利益 又は損失(△)	49, 889	74, 308	124, 197	△5, 010	119, 187	△249, 151	△129, 963

- (注) 1. 当社グループが従来「回路保護部品」と称していた製品群は、電子部品の中の機能的な位置づけを考慮して平成23年 4 月 1 日より「回路保護素子」と改称したことに伴い、平成23年 4 月 1 日より「回路保護部品事業」は「回路保護素子事業」と改称しています。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルムコンデンサ事業及びアルミコンデンサ事業等を含んでいます。
3. セグメント利益又は損失(△)の調整額△249, 151千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理、管理部門等の一般管理部門に係る費用です。
4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。